

平成 25 年 7 月 19 日

改革クラブ

代表 亀田 英雄 様

議 員 亀田 英雄



議 員 堀口 晃



議 員 矢本 善彦



議 員 幸村 香代子



復 命 書

平成 25 年 7 月 4 日（木）～6 日（土）の 3 日間、改革クラブ会派視察研修のため武雄市・大分市・別府市へ出張いたしましたので、復命します。
なお、詳細については、別紙のとおりです。

八代市議会 会派合同 管外行政調査所見

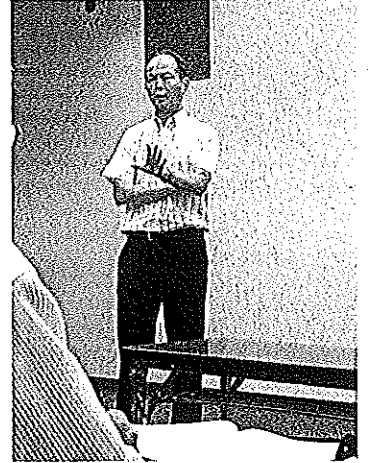
委員名【 亀田 英雄 】

視 察 日：平成25年 7月 4日（木）

視 察 先：佐賀県武雄市

◆調査項目：武雄市立図書館について

噂の武雄市立図書館は、多くの視察があるという事で、私達も4つの団体で合同の視察であった。また、途中から樋渡市長が飛び入りされ、お話を頂いた。市民病院の民間委託・移譲問題で市長リコール・出直し市長選挙を経験されたものであるが、随意契約を指定管理者制度に推奨する考え方は一種独特であり、独善的でさえあったが、市長が思い描く施設を運営するには、競争入札では対応できないとも感じた。市長から薦谷に直接アプローチしたものであり、市長の考える図書館のコンセプトと、薦谷のノウハウがうまく一体化したことで、あのような図書館の形態で運営ができるのであって、誰でもできるものではないと思う。



しっかりとした戦略があり、そこしか表現ができないと言う事であれば、それはそれで認めざるを得ないものであると感じた。が、トップダウンは必要でも、敢えて議会と対峙する必要はなく、丁寧な説明は必要ではないかとも思った。

図書館は、従来のイメージではなく、喫茶店の感覚があり、交流の場であり、現在は入場者も多く盛況である。図書館の在り方として、全ての人の理解を得ることができるかと言えば疑問が無いわけではないが、来館者に喜んでもらえるのであれば、それはそれで良いのではないかと感じた。

様々なサービスは利用者の立場・都合に合わせたものであり、八代市でも是非検討いただきたいものが多くあった。

◆調査項目：行財政改革について

地方債残高が五年間で93億円削減されているが、まだ道半ばということで、19年に策定された行革プランでは具体的な歳入確保目標総額、歳出抑制目標総額、基金積立額を設定され、達成率の検証がしっかり行われていて積極的な財源の確保について実績をあげられているのは評価すべきものである。

財政における将来に向けた課題を、歳入・歳出で明確に示し、目指す姿を描き、課題へ対応策がキチンとできている。

これからの5カ年の改革の戦略として、「合併支援措置の終了を見据えた財政基盤の強化」とし、3本の柱を立て、それぞれに具体的な方策を示されているのは簡単で分かりやすいと感じた。

また、財源対策を取り組み内容ごとに目標金額を立てられている事も分かりやすいやり方であると感じた。八代での取り組みに取り入れるべきであると思う。

視 察 日：平成25年 7月 5日（金）

視 察 先：大分県大分市 日本フィルム株式会社

◆調査項目：八代市指定ごみ袋の製造について

八代市が長くお世話になっている民間会社の視察ということで、どのような会社なのか興味をもって出向いたものであるが、その対応には感心させられた。

最初から丁寧な事務所での対応であった。お茶も繰り返し頂き、工場の見学でも従業員の皆さんから丁寧な挨拶をいただき、その対応の仕方は決して付け焼刃ではなく、常日頃からの繰り返し、教育の賜物であり、とても気持ちの良いものであった。

このような社風が間違いのない製品を作っていくものだと感じた。

ものづくりの会社として数々の賞を受賞されており、いろんな製品を製造されているのであるが、ごみ袋についても様々な工夫がなされていた。

市民に都合のよい製品づくりということが、会社の経営理念としてあり、420もの自治体からごみ袋を受注されていることは特筆すべきことである。

取り組みも理念もしっかりとしていた。原料の製造から整袋・印刷まで一つのラインで行われており、こうすることで製造責任が明確となり、製造過程でも管理がしっかり行われ、その徹底ぶりは確かな製品作りとなり、会社の発展になっていると感じた。

社員の説明も自社の製品に対する自信に溢れており、それぞれにお話を頂くものも、統一感があり、気持ちの良いものであった。

何にしても丁寧な対応に感謝であり、八代市のごみ袋がこのような信頼に値する会社で作られていると言う事で、安心したことであった。

視 察 日：平成25年 7月 6日（土）

視 察 先：大分県別府市 株式会社瀬戸内自然エナジー

◆調査項目：温泉熱発電事業について

今注目の再生可能エネルギーを利用した発電、なかでも今回は全国で初めての温泉熱を利用した発電が、別府で取り組まれていると言う事で、楽しみに出かけた。

「瀬戸内自然エナジー」は関連企業が行っている給配湯事業のノウハウと、有り余る温泉を利用して、沸点の低い液体を加熱して蒸気にしてタービンを回す『バイナリー発電』に取り組むと言うことである。

社長に対応して頂き、苦労話を伺った。経済産業省の補助金を利用してということであったが、実際会社として営利を目的とする事はできず、様々な規制があったりで考えるような出力が出せなかったり、報道での華々しさとは裏腹な話は、この事業の大変さを伺わせた。

しかし、この事業をなんとか軌道に乗せて事業化しようとする社長の意気込みもあり、どうにかなるのではと思いもしたことであった。

自宅にも案内して頂いた。素晴らしい邸宅であり、豪華調度品は目を見張るものがあった。なんでも初めての事には人には言えないような苦労が付きものであるが、社長のようなフロンティア精神を持った方ならば、必ず成功されると思ったことであった。

平成25年度 視察報告書



日本フィルム(株)
瀬戸内自然エナジー

○視 察 日 程

平成 25 年 07 月 05 日 (金)・06 日 (土)

○視 察 場 所

■大分県大分市 日本フィルム(株)

■大分県別府市 瀬戸内自然エナジー

八代市議会 改革クラブ

堀口 晃

平成 25 年 8 月 20 日

■視察研修内容

日 程	研 修 内 容	時 間	スケジュール	備考
07月05日(金) 1日目	○日本フイルム(株) ◆会社概要説明 ◆工場見学 ◆質疑応答	13:30～ 13:35～ 14:10～ 15:00～ 15:40	あいさつ 終了	
07月06日(土) 2日目	○瀬戸内自然エナジー ◆会社概要 ◆施設見学 ◆質疑応答	09:30～ 09:35～ 10:00～ 11:00～ 11:30	あいさつ 終了	

◆はじめに

現在八代市では「ごみ非常事態宣言」が発令中である。ごみ袋の有料化となったのが旧八代市平成11年である。燃えるごみの減量化とリサイクルの推進を図る事を重要課題として、有料指定袋制度を導入、併せて20分別によるリサイクルもスタートした。開始当初は燃えるごみの収集量は減少したもののその後は横ばいとなり、多少の増減はあるものの減少傾向には至っていない。

現在八代市で使用している有料ごみ袋は土のようにして作られ、安全性と信頼性はどのようになっているのか調査する必要があるとのことから今回の視察となった。

また、東日本大震災に於いて甚大な被害を受けた福島原発により、自然エネルギーに対する関心が高まっている。その中で、地熱を利用して発電を行う試みが大分県別府市で実施されていることを聞き、八代市でも日奈久温泉を利用した地熱発電ができないか検討することは無駄なことではないと、現地へ赴いて視察することとした。

日本フイルム株式会社

■ 視察内容

1. 会社概要

所在地：大分県大分市下郡 3007

設立年：昭和 47 年 5 月 15 日

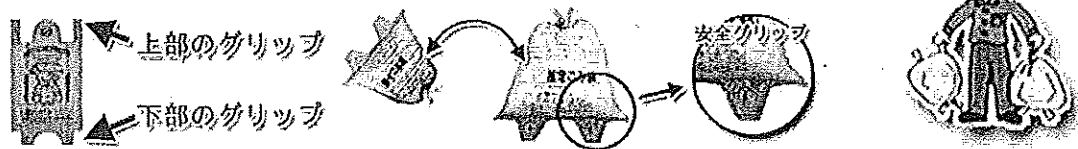
社員数：98 名

売上高：約 20 億円

主たる業務内容

- ・自治体指定ごみ袋
- ・水切りポリ袋
- ・各種ポリエチレンフィルム

現在、全国約 3 2 0 0 自治体の約 5 7 % がごみ袋を指定しており、そのうちの約 4 0 0 の自治体が採用する 2 0 0 0 種類以上の指定ごみ袋が日本フイルム製である。高いシェアを獲得した理由の一つに収集する人の安全を考えた「安全グリップ」の存在等がある。



しかも、製品管理は、監視カメラを使い 24 時間態勢で品質管理をしていることには驚いた。その他にも、社員からのアイディアで過剰包装を止めて簡易包装を行うことで地球環境に優しい製品づくりに努めていることも素晴らしい取り組みである。

今回の視察で感じたことは、製品の素晴らしさや、エコの取り組み、いろんな発想で、新たな製品づくりは感心させられるばかりであったが、一番印象に残ったのは、社員の皆様が私たちを満面の笑顔で迎えていただいたことである。とても気持ちの良い視察ができた。八代市においても笑顔であいさつ日本一運動を行っているが、パートの皆様まで行き渡ってこそ本当のおもてなしと言えるのではないかな。企業訪問をするに当たり、製品の善し悪しばかりではなく、その会社の企業理念が私たちまで伝わってくる視察であった。

八代市においても、日本一の行政サービスを目指すなら職員の市民に対する意識をレベルアップする必要があると感じた。

瀬戸内自然エネルギー

■日本初の温泉発電施設

1. 温泉水を利用した自然エネルギー

100℃程度の温泉水を利用して発電する「バイナリー発電」が、2012年12月から大分県別府市の別府温泉で、日本で初めて温泉を利用したバイナリー発電設備の建設が始まった。

バイナリー発電設備を建設したのは、別府市で650世帯の住宅に温泉水を供給する事業を続けてきた「瀬戸内自然エネルギー」である。

1分間に800リットルの熱湯が噴出する源泉を権利しているが、住宅に温泉水を供給しても余ってしまい捨てていた。

温泉水を捨てるのはもったいないと考え続け、有効活用する手段がなかなか見つからなかったという。しかし、再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度が始まり、バイナリー発電という発電法があることを知り導入の検討を始めた。

バイナリー発電なら本格的な地熱発電とは異なり、高温の熱源を求めて地下を深く掘る必要がないので、工事費が安く済む。温泉への影響もない。地熱発電では超高温の蒸気を直接利用してタービンを回すが、バイナリー発電では、沸点が低い液体を温泉で温め蒸発させ、その蒸気でタービンを回す。100℃程度の温水でも十分発電に利用できる。

温泉水の活用にもってこいの発電方法である。

2. 事業に向けての取り組み

温水をタンクに貯めて、タンクからバイナリー発電機に流して発電する。1台当たりの最大出力は60kWである。発電した電力は、再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度を利用して九州電力に売電する。

地熱発電の場合、機器の最大出力が1万5000kW未満なら、売電価格は、1kW当たり42円(売電期間は15年間)と、かなり高い価格がついている。

売電できるのは50kW未満の電力となる。余った電力は発電機の電源や、ポンプの電源に利用する。1年間の売電収入は1800万円を見込んでいる。

3. 今後の取り組み

本格稼働が始まったら、発電機の数徐徐に増やして、最大で10台まで増やす予定である。さらに、自社が管理する別の源泉にも最大10台の発電機を設置していく計画である。将来、発電機が増えてきたら、高圧に対応する送電線を引く計画もある。

■まとめ：八代市への反映（所感）

◆今後の自然エネルギーへの転換を含め地域産業を生み出すために、具体的に動いていかねばならない。八代市内には、いくつかの温泉源を有している。今回の視察でその活用方法を見出すことができないか検討する余地があると考ええる。

執行部は、このような情報を提供し、民活を最大限利用して産業の活性化や雇用の創出に役立てる必要があると考える。

改革クラブ、市民クラブ、共産党、合同会派、視察報告書
下記の通り視察を行いましたので、その結果を報告します。

改革クラブ 矢本善彦

期間 平成25年7月4日(木)～7月6日(土)

視察先 佐賀県 武雄市図書館視察、

フェイスブックを使った情報発信

行政改革について、

5日 大分市 日本フィルム株式会社視察

6日 別府市 瀬戸内自然エナジー視察

所感

武雄市図書館の指定管理について、

武雄市の図書館は、平成12年10月に開館する。

CCC(カルチャア、コンビニエンス、クラブ)が運営する

「代官山 蔦屋書店」の報道を樋渡市長がテレビ番組を見て
のコンセプトやノウハウに感銘し、代表者に直談判され、
指定管理者制度での運営で提携することとなった。

20万冊の知に会える場所(全て開架式)、電子端末を活用
した検索サービス、カフェ、ダイニングの導入、Tカード、

Tポイントの導入、365日年中無休、
朝9時～夜9時までの開館時間などを代官山蔦屋書店の
ノウハウを活用した、サービスの導入されている。
セルフカウンターでは図書の貸出し、販売されている、
本の購入、レンタル、CD,DVDの貸出手続きが自動で
行える。

貸出資料、日数、図書資料、10冊、15日以内
雑誌資料、2冊、8日以内、AV資料、2点、8日以内、
返却時は専用袋に入れて、近くのコンビニなどから送られる。
宅配返却のサービスも利用できる。500円

これまでの、常識を打ち破った新しい公立図書館への期待は
かなり大きいし、

武雄市の知名度も上がっている。

本市でも、指定管理者制度、個人情報の扱いが問題と
なっているが、

市民サービスと図書館の在り方の考え方など大変参
考になりました。

平成25年7月5日（金）

調査事項 日本フィルム株式会社（大分市下群3007番地）

2日目 八代市指定ごみ袋の製造について

これまでの、行政視察は自治体のみであったが、
今回、初めて民間の会社を訪問することになった。

当社の、事務所に入ると同時に、起立された社員さんたちの
挨拶に感銘いたしました。

さて、当社はトイレットペーパーなど家庭紙を生産している、
大分製紙（株）の関連会社として1972年に設立、
当初は、トイレットペーパーを包装する

ポリエチレンフィルムを製造するため、昭和電工（株）から
原料と技術指導を受ける形でスタートする。

現在は、台所用水切り、ポリ袋や自治体指定の安全グリップ
付きごみ袋等の環境保全型の商品を製造されている。

1日6万枚製造、全国420市町村の指定ごみ袋として
採用されている。他社と「ひと味違う製品づくり」に
チャレンジし、生き残りを目指す技術開発型企业と感じまし
た。今回の、企業訪問は有意義な視察でありました。

平成25年7月6日(土)

(株)瀬戸内自然エナジー 別府市鶴見1665-171

3日目 調査事項 温泉熱発電事業について

別府駅から約15分鶴見の扇山すそ野に温泉熱発電所がありました。

森川勇社長直々のお出迎えをいただき、

事務所で設立までの熱のこもった苦労話を聞く、

当社は、全国初の温泉熱を利用した発電システムが

導入された。

この50年間に蓄積された給配湯のノウハウと

国の支援によってスタートしている。

事業主体は瀬戸内自然エナジー、施工は(株)

神戸製鋼所が発電機本体を手掛ける。

同社によると、地下約400メートルの温泉湧出口から

自噴する温泉熱を利用して、発電装置1基を設置し、

タービンを回して発電する。

発電能力は72KW、装置の稼働に必要な電力を除いた

約50KW時を、1KW時当たり42円で九電に売電する。

総事業費、9千万円、計画通りに進めば、

4年半で設備投資分を回収できるという。

周辺住民約330世帯に温泉を供給している。

今回社長の、地熱発電の普及に対するバイタリティーに
感銘を受けました。

すごく勉強になりました。感謝

改革クラブ・市民クラブ・日本共産党会派合同視察報告

改革クラブ

幸村 香代子

[月日]: 2013年7月4日(木)～7月6日(土) 2泊3日

[視察先]: ①武雄市立図書館

・図書館運営について

②武雄市

・行財政改革について

③日本フィルム株式会社(大分市)

・八代市指定ごみ袋の製造について

④瀬戸内自然エナジー(別府市)

・温泉熱発電事業について

[視察報告]

① 武雄市立図書館

(目的)

この図書館は、TSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)が指定管理者となっている。その運営については、新聞などにも取り上げられた。これまでの「図書館」の概念を大きく変える運営で来館者数は大きく伸びている。

図書館が教育施設であるということから、指定管理者の導入について、多くの自治体で賛否が分かれるところである。本市でも検討された経過はあるが、まず「図書館の在り方」そのものを明確にする作業から入り、現在、窓口業務の民間委託を行っている状況である。

武雄市立図書館の視察を通して、指定管理者を導入したことがどのような影響をもたらしているのかを研修することとした。

(内容)

多くの団体から視察の申し込みがあるということで、視察日が限定されている。この日も他に3つの団体と合同視察となった。1時間ほど説明を受け、後半を館内視察となった。途中、樋渡啓祐市長が飛び入りで参加され、直接、思いの一旦を伺うことができた。

総務省の職員という経歴を持つ市長はその発想が大胆であり、その視点は武雄市のみの留まらず、日本全国、また世界を見据えての行政運営をされているように感じた。しかし、その首長のトップダウンが職員や議会、市民にどれだけの説明が行われ共有化が図れているのか疑問に思う。「反対なら選挙で落とせばいい」というのは乱暴な論理ではないかとも感じた。

図書館を指定管理者に任せるのであれば、優秀な事業者を選ぶことが重要だという

話であった。普通、指定管理者の選考にあたっては、選択基準が数値化されており、点数の高い団体が指定されることになるが、そもそも、どのような団体が参加してくるのかということであろう。武雄市はむしろ市長のネットワークの中からの参加であったらしい。

従来の図書館の概念とは違う運営の特徴として、公立図書館内に初のスターバックスコーヒー店の開店がある。ここで飲食をしながら本が読めるということだ。多くの人が利用されていた。また、セルフカウンターが設置されていて、図書の貸し出しのほか、蔦谷書店の本の購入やレンタルCDやDVDの貸し出しだしが自動で行える。

図書館の本は全てが公開されていて蔵書というものが無い。レファレンスも充実していて、児童書レファレンスは別カウンターが設けてある。

施設の設備や来館者対応のさまざまなサービスは充実していると感じた。来館者が多いはずである。2013年4月のリニューアルオープンから3ヶ月で26万人の来館者を記録している。1日平均2900人ほどになる。前年度に比べて4倍となる。図書貸し出し数も平均で1644冊、約2倍である。武雄市民（人口5万人）の利用が平日6割、休日5割という。これまでの「図書館は静かに本を読む所」という概念とは違うものを視察させて頂いた。図書館という施設を使って居心地のいい空間を作り上げ、人が集う場を作り上げられていくような気がした。この図書館の将来をしばらく注視していきたい。

② 武雄市

（目的）

樋渡啓祐市長はSNSを積極的に活用した情報発信が行われている。そのほかに市民病院改革や教育改革なども推し進めておられる。SNSの活用を中心に行財政改革を視察した。

（内容）

常にタブレットを持ち歩きFBで市の情報発信を市長が行っている。市のホームページに代わるものである。

武雄市「フェイスブック（FB）通販」もその一つである。2013年度中には40もの自治体に広がりそうな勢いで伸びている。民と官の垣根を取り外し、シームレスにしてあることで、これまでの通販に無かったいろいろな商品が集まっている。海外からの視察あり、シンガポールにFBI（フェイスブックインターナショナル）を出す予定ということであった。

市民病院の民間委譲は議会が市長をリコールし、出直し選挙まで行われた案件であった。当選した市長は公約通り市民病院を民営化した。その後、赤字経営から脱却し黒字経営となっている。他の公共施設も14に指定管理者制度を導入している。

平成23年度から27年度の行政改革プランを策定し住みたいまちづくりを目

指している。このプランの中身は他の自治体と大きく変わるものではないが、その手法は独自のものがあるようだ。

今後、市庁舎の立て替えなどの大型事業がある。その内容も、図書館の改革のような視点で進められていくようである。新しい改革の姿も視察させていただいた。

③ 日本フィルム株式会社（大分市）

（目的）市の指定ごみ袋の製造現場を知るために視察を行った。



会社の場所はＪＲ大分駅から車で１０分の下郡工業団地の中にある。

※昭和４７年５月１５日に大分製紙（株）の関連会社として設立された。当初はトイレトペーパーを包装するポリエチレンフィルムを製造したが、現在は、自治体指定ごみ袋、水切りポリ袋、携帯用ごみ袋などを製造している。
※特に自治体指定ごみ袋は、４２０自治体の２０００種類を製造。年間４億枚の製造になり、売り上げの４０％を占めている。

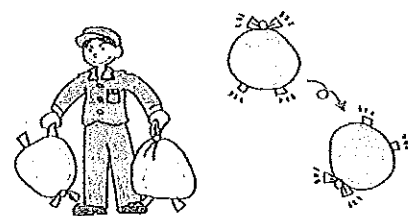
※その特徴は・・・

①一貫した連続生産・・・フィルム原版といわれるごみ袋の基になるフィルムを海外から輸入している所が多数あるが、ここでは自社で製造している。このことにより、製品の品質に責任がもてるようになっている。

②トレーサビリティ・・・ごみ袋１枚毎に異なった生産履歴番号が印字されている。偽造防止対策とトラブルが発生した場合に生産履歴映像（全製造工程を動画で２４時間録画）と合わせて対処できる。

④ リサイクルシステム・・・規格外品やロスは全て自社工場内で破砕処理しリサイクルされている。

⑤ 簡易包装・・・ごみ袋に巻かれている簡易な紙ラベルも自社で印刷されている。パソコンから印刷しているので、デザインの変更などにも細かに迅速に対応できる。



この形にも意味がある！「安全グリップ」ごみ回収者の安全にも配慮

◎説明の中で、生活必需品を製造しているということで、市民の皆さんの要望に応じていくという姿勢が大事という言葉を経度も聞いた。そのことが社員の皆さんの挨拶や質問への対応など工場全体の雰囲気にも現れているように感じた。

◎黄色いごみ袋はカラス撃退に効果があるか？

A：テレビで放送されてからカラスの生態に詳しい大学の先生に聞くなど、調査をしたが特に際だった効果は無いということであった。

Q：八代市は燃やすごみの減量化に取り組んでいるが、その変化は袋の製造にも現れているか？

A：以前は大の袋の発注が多かったが、最近では中袋の方が多くなっている。

④瀬戸内自然エネルギー（別府市）

（目的）

東日本大震災後、エネルギーのあり方が論議されている。その中でも、風力、太陽光、小水力、地熱などの再生エネルギーへの取り組みは全国で進められている。そのような中で、温泉熱を活用した発電事業がどのようなものであるのか視察することとした。

（内容）

別府の温泉地に、2012年12月に温泉熱を利用した発電事業の起工式を行い、2013年1月から1号機の起工を行った。

発電設備は出力約70kWで導入費用は工事費などを含め約9000万円だった。地熱の買い取り価格は1kW時当たり42円で、約1800万円の売り上げを見込み投資は約5年以内に回収できる計算となっている。

事業が始まったばかりで、いろいろな予期せぬトラブルが起きているようであった。特に水質の問題は大きいようである。日本には温泉地が多くあり、地熱や温泉熱を活用した発電は有効であると考え、国の支援も含めて継続的な取り組みが必要である。

会派合同議会報告会のまとめ 25年度上半期

開催日	会場	参加人数
25年4月10日(水)	やつしろハーモニーホール	45人
25年4月24日(水)	坂本公民館	32人
25年4月26日(金)	郡築公民館	5人
25年6月26日(水)	やつしろハーモニーホール	90人

25年度上半期は足掛け4年の活動のまとめの時期となりました。25年9月に改選を迎えるにあたり、どのような「まとめ」を行うのか検討を行いました。

4月10日、24日、26日はこれまでと同様に3月定例議会の報告と参加者との意見交換を行いました。

6月26日を今期、最後の報告会とし、その内容の検討と準備のための会議を重ねました。また、参考にする為に、マニフェスト大賞で優秀賞をとられた倉敷市議会の会派青空クラブの皆さんとの研修会も行いました。

6月26日について

- ・開催は夜1回のみ。
- ・二部構成とし、一部を「6月議会の報告」と「これまでの活動報告」二部をパネルディスカッションとする。
- ・コーディネーターを梅田氏に依頼する。
- ・参加者を増やす。
- ・チラシ撒き、街宣を行う。

などを検討し、それぞれに分担と準備を進めていくこととした。リハーサル、コーディネーターとの打ち合わせなど協議を重ねた。

(まとめ)

良かった。初めての試みでもあり、議員も緊張したが、多くの参加者があり概ね好評であった。一部を「議会」「会派」という組織。二部を「個人」と色分けしたことが参加者にも分かりやすかったようだ。「議会」「議員」が市民にとって何なのかということを考えてもらう機会にもなった。

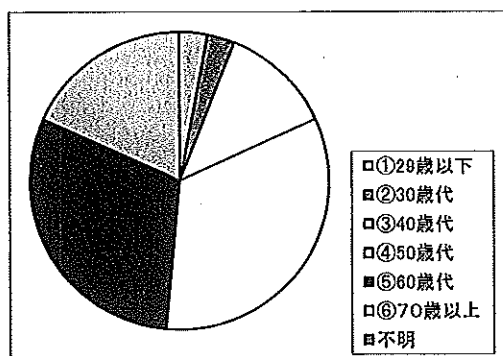
(全体のまとめ)

足掛け4年間、報告会を継続できたことが良かった。「開かれた議会」を目指し、ひたすらに取り組んできた。会派の枠を超えて合同で取り組むことの意義も大きかったと思う。参加者の少なさを指摘されることもあるが、参加された方が、次は他の方を誘ってきてくださるなど、徐々にではあるが浸透してきている。また、リピーターも多い。

今後の開催を期待される応援の声もたくさんいただいた。次期の開催を「約束」した。果たしたいと思う。

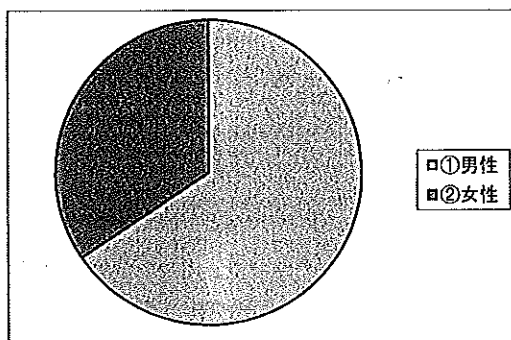
2013/4/10 八代ハーモニーホール

①29歳以下	1	3%
②30歳代	1	3%
③40歳代	4	12%
④50歳代	11	34%
⑤60歳代	10	30%
⑥70歳以上	6	18%
不明		



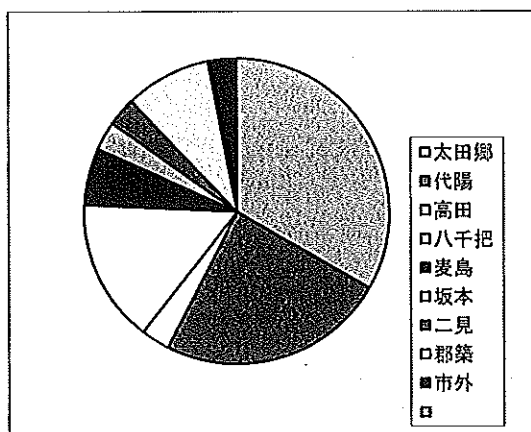
2. あなたの性別は

①男性	21	66%
②女性	11	34%



3. あなたのお住まいはどちらですか

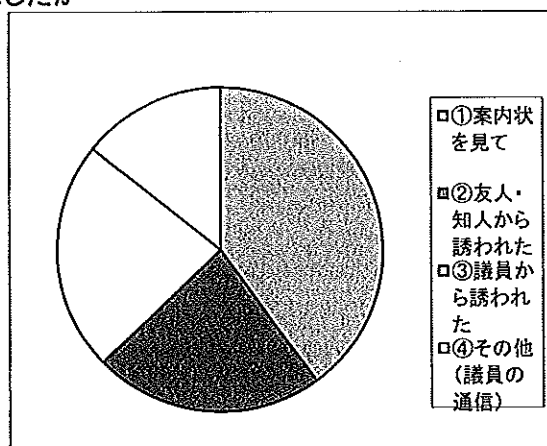
太田郷	11	34%
代陽	8	24%
高田	1	3%
八千把	5	15%
麦島	2	6%
坂本	1	3%
二見	1	3%
郡築	3	9%
市外	1	3%



4. 今日の議会報告会の開催を何で知りましたか

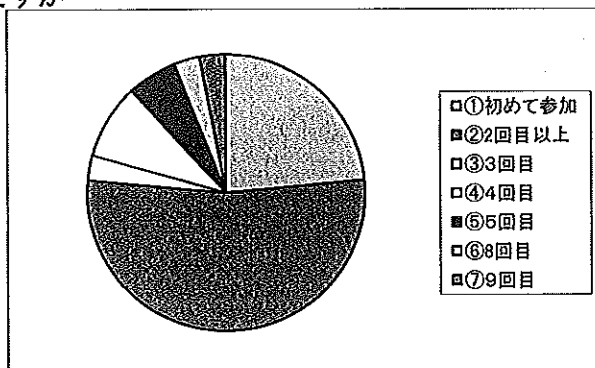
①案内状を見て	14	40%
②友人・知人から誘われた	8	23%
③議員から誘われた	8	23%
④その他(議員の通信)	5	14%

- * 複数回答あり
- * その他
- ・労組から
- ・議員の通信



5. あなたは議会報告会の出席は何回目ですか

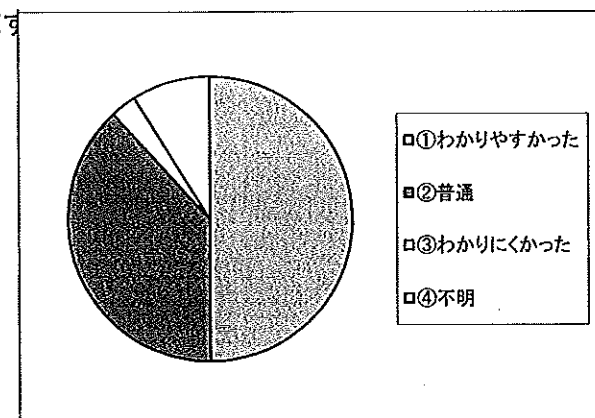
①初めて参加	8	24%
②2回目以上	18	52%
③3回目	1	3%
④4回目	3	9%
⑤5回目	2	6%
⑥8回目	1	3%
⑦9回目	1	3%



6. 議会報告会の内容についてお尋ねします

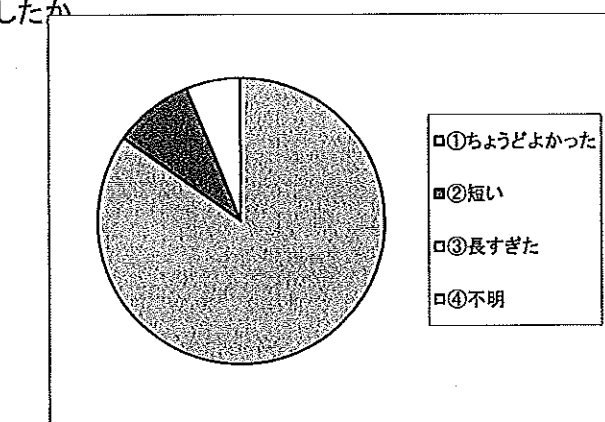
1) 議員の説明はわかりやすかったですか

①わかりやすかった	17	50%
②普通	13	38%
③わかりにくかった	1	3%
④不明	3	9%



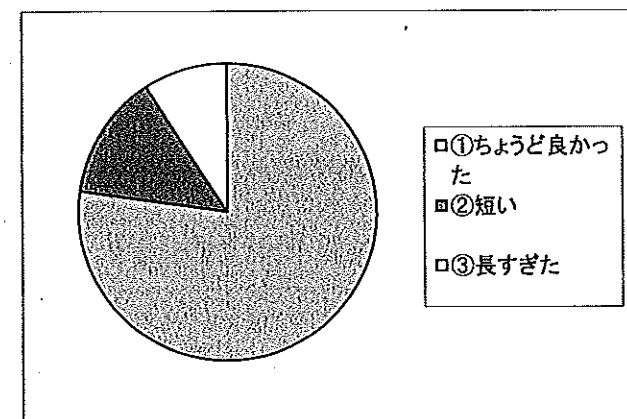
2) 議会の報告をする時間の配分はどうでしたか

①ちょうどよかった	28	85%
②短い	3	9%
③長すぎた	0	0%
④不明	2	6%



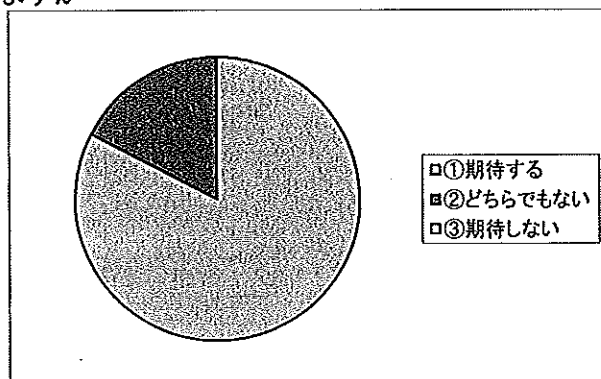
3) 意見交換や質問をする時間配分はどうでしたか

①ちょうど良かった	17	77%
②短い	3	14%
③長すぎた	2	9%
④不明	0	0%



4) 今後、今回のような議会報告会を望まれますか

①期待する	19	83%
②どちらでもない	4	17%
③期待しない	0	



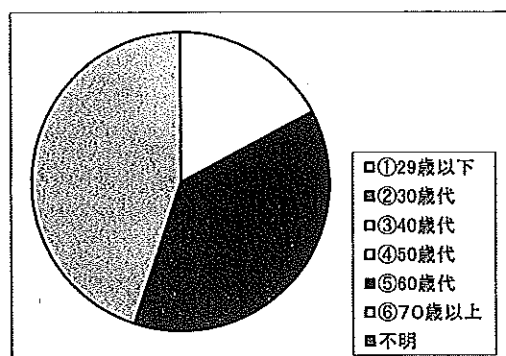
5) 意見・要望

- ・今回は報告が多かったせいか早口になった感があった
- ・ポイントをしばった報告にしたらどうか。
- ・報告会の回数をもっと多くして欲しい。
- ・今後の八代をどうするか？とても興味あり。
- ・意見にもでたように、議員の皆さんのそれぞれの支持者の方々にもこの報告会や議会のPRをされた方が良いと思います。もったいないです。
- ・PRされる時に良かった！という感想を載せられたらどうでしょう。
- ・とても勉強になります。
- ・この場の意見が市政に反映されているので嬉しいです。
- ・後半の意見交換について本当に大切なテーマが出されました。本当はもっと時間をかけて議論できたらいいですね。
- ・車両・看板設置等で報告会の案内を活用して欲しい。参加者が増えますように。
- ・資料が良く、色刷りされ明確になりました。枚数が多くなりますが「字」をもう少し大きく願います
- ・周知にはもっと頑張ってほしい。市報に載っているのかなあ？いっそのことハーモニーホール、市民ホールで大々的にやっていっても良いと思う。質問できなかったので夜に又来ます。
- 過去22回分の資料が欲しいです。
- ・東陽・泉が終わったら、テーマ毎に報告会を設けたらどうか。例)ゴミ問題など。
- ・市議会(全会派)で報告会ができるよう努力を続けて欲しい。
- ・議会報告の内容説明も大事だが、どのような主張をしたか、努力したかを主体的にお話しをして欲しい。
- ・単なる議会の報告に主体をおき時間を費やしているように感じます。時間を考えれば内容の具体性を会派の意見を反映された報告会を主体にしていただければいいと思いました。
- ・お疲れさまです。
- ・大変良かった！！ガンバッテ下さい。

平成25年4月24日 坂本中央公民館

①29歳以下	0
②30歳代	0
③40歳代	0
④50歳代	5
⑤60歳代	11
⑥70歳以上	13
不明	

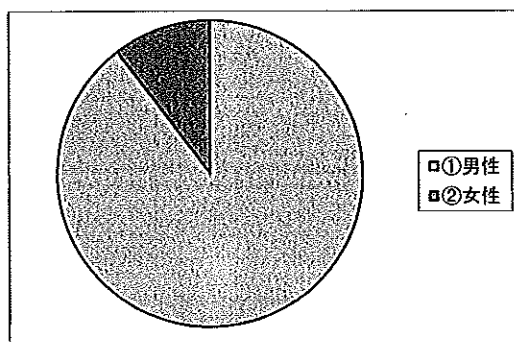
17%
38%
45%



2. あなたの性別は

①男性	26
②女性	3

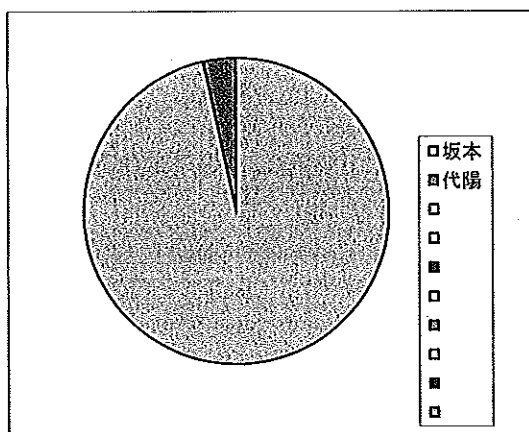
90%
10%



3. あなたのお住まいはどちらですか

坂本	28
代陽	1

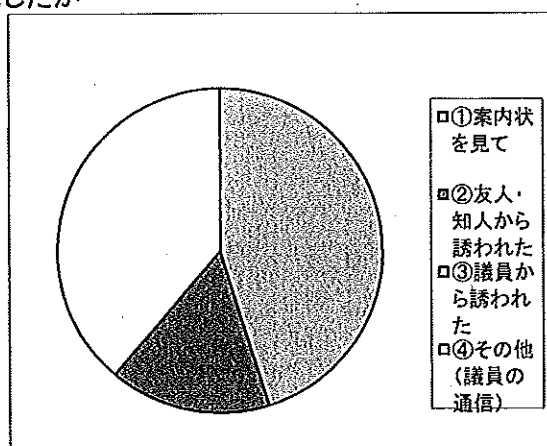
97%
3%



4. 今日の議会報告会の開催を何で知りましたか

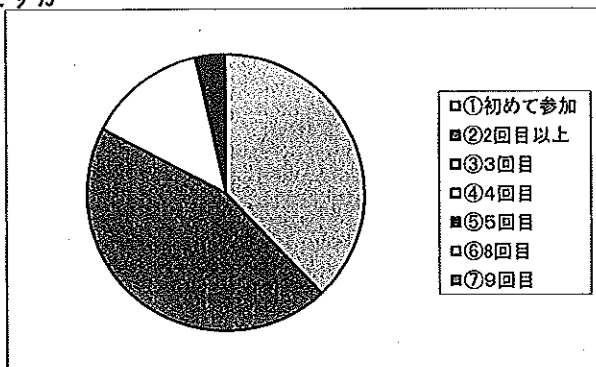
①案内状を見て	14
②友人・知人から誘われた	5
③議員から誘われた	12
④その他(議員の通信)	

45%
16%
39%



5. あなたは議会報告会の出席は何回目ですか

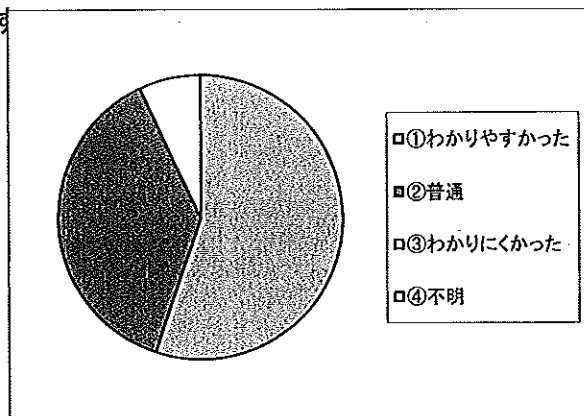
①初めて参加	11	38%
②2回目以上	13	45%
③3回目	4	14%
④4回目		
⑤5回目	1	3%
⑥8回目		
⑦9回目		



6. 議会報告会の内容についてお尋ねします

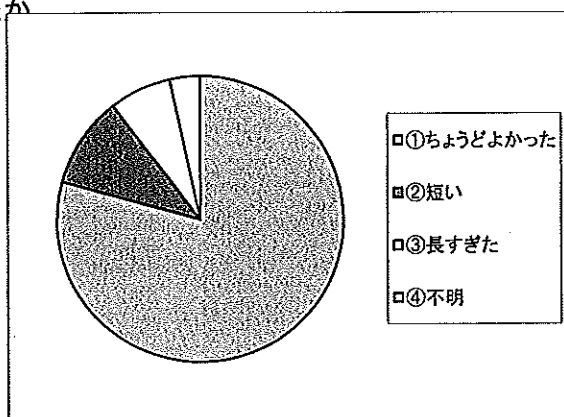
1) 議員の説明はわかりやすかったですか

①わかりやすかった	16	55%
②普通	11	38%
③わかりにくかった	2	7%
④不明		



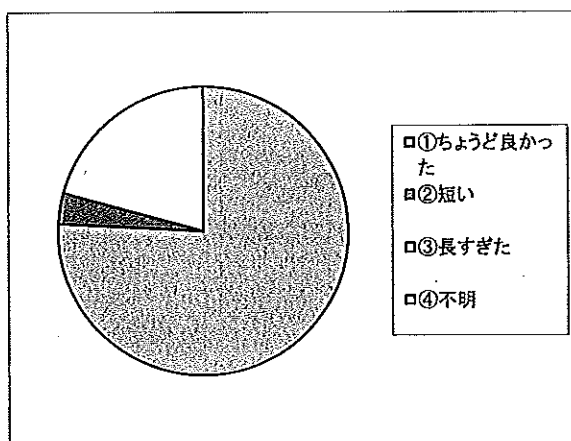
2) 議会の報告をする時間の配分はどうでしたか

①ちょうどよかった	23	80%
②短い	3	10%
③長すぎた	2	7%
④不明	1	3%



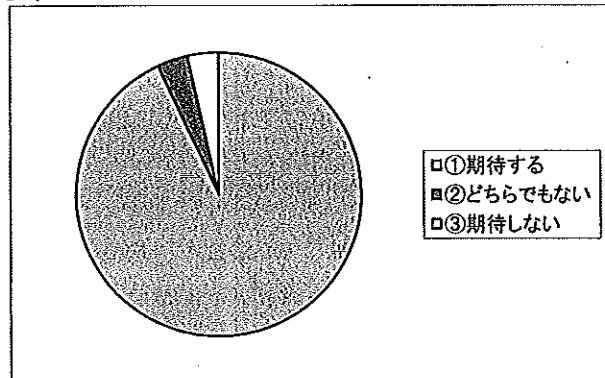
3) 意見交換や質問をする時間配分はどうでしたか

①ちょうど良かった	22	76%
②短い	1	3%
③長すぎた		
④不明	6	21%



4) 今後、今回のような議会報告会を望まれますか

①期待する	27	94%
②どちらでもない	1	3%
③期待しない	1	3%



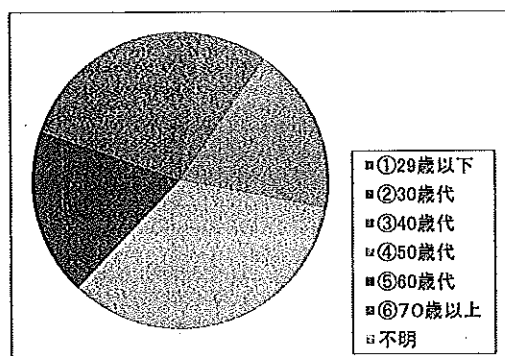
5) 意見・要望

- ・知らない情報がわかるので良い。
- ・配付資料は過不足無いように準備してもらって、説明は重点項目を絞ってもらいたい。
- ・視察された事についても話してもらいたい。
- ・質疑応答で住民の考え、要望を直に聞かれる機会であったと思います。
- この報告会で満足されることなく、住民の考え、要望を市政に反映いただけるようスタートの原資として活用。より一層議会活動に頑張ってもらいたい。期待しています。
- ・市議会議員が住民からの質問に対して回答するという形を初めて体感し、新鮮な気持ちになりました。大変ですが、今後とも続けていかれること。そしてご活躍をご祈念致します。
- ・会派が何を主張したのか、具体的な報告でなければ資料を配付したが早わかりする。
- ・開催事前に開催地域関連の事案などを抜き出し検討し、詳細な報告を願いたい。
- ・きめ細かい事項はしっかり説明して欲しい。わかりにくい。
- ・説明が早口でもっとゆっくり話してもらいたい。
- ・議員が言っていることがわからない。議員の考え方がわからない。
- ・事前に資料をへ配布していただければ質問もあるかも。
- ・議会報告会にあわせ、審議前にどんな議案が審議されたのか。情報発信も必要。
- ・ご苦労様でした。
- ・毎回知り得ない情報を聞かせてもらえるので今後の開催にも期待する。
- ・ご苦労様です。頑張って下さい。
- ・配付資料がよくできていた。
- ・報告会の時期は丁度良かった。

2013/6/26 やつしろハーモニーホール

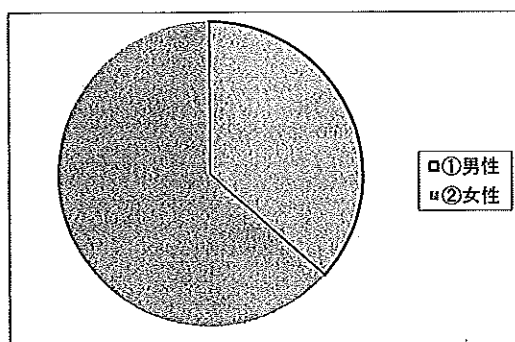
1. あなたの年齢は次のどれですか

①29歳以下	2	2%
②30歳代	6	7%
③40歳代	15	18%
④50歳代	28	34%
⑤60歳代	15	18%
⑥70歳以上	16	20%
不明		



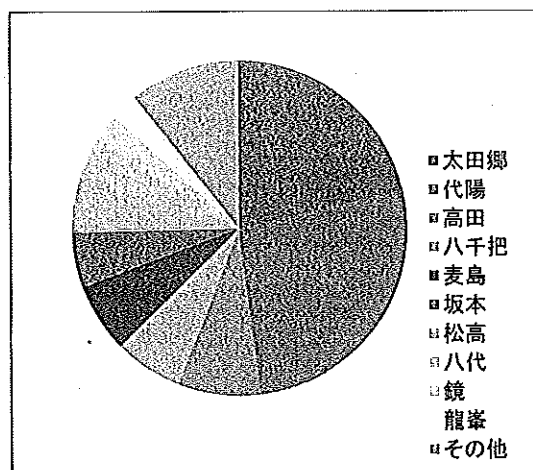
2. あなたの性別は

①男性	30	37%
②女性	52	63%



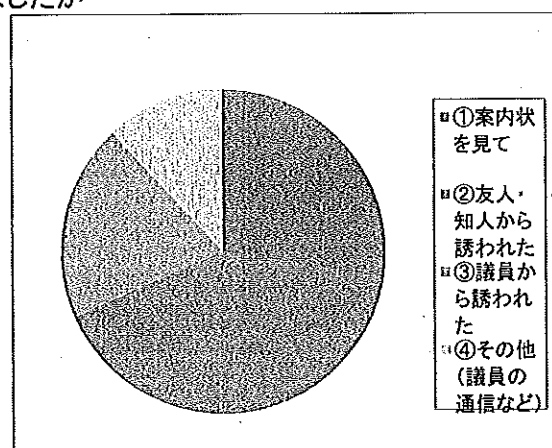
3. あなたのお住まいはどちらですか

太田郷	16	21%
代陽	20	27%
高田	6	8%
八千把	5	7%
麦島	5	7%
坂本	4	5%
松高	4	5%
八代	3	4%
鏡	2	3%
龍峯	2	3%
その他	8	11%



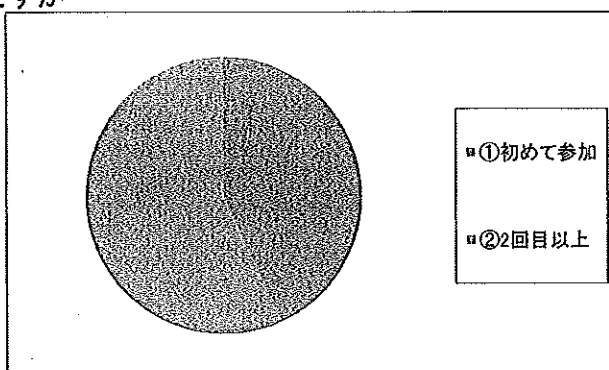
4. 今日の議会報告会の開催を何で知りましたか

①案内状を見て	21	28%
②友人・知人から誘われた	31	41%
③議員から誘われた	15	20%
④その他(議員の通信など)	9	12%



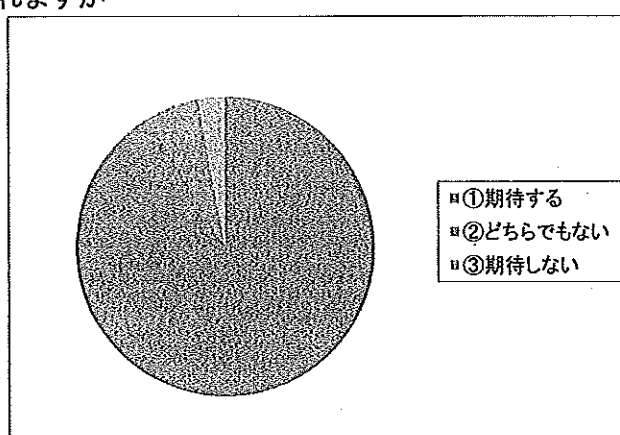
5. あなたは議会報告会の出席は何回目ですか

①初めて参加	34	43%
②2回目以上	45	57%



4) 今後、今回のような議会報告会を望まれますか

①期待する	64	91%
②どちらでもない	4	6%
③期待しない	2	3%



4) 今後、今回のような議会報告会を望まれますかについての意見

- ・できれば議員全員の皆さんからの報告があればいいな
- ・同じ立ち位置で意見交換ができて面白い。ためになる話がきけました。ありがとうございました。
- ・もっと早くから参加すればよかったと思いました。
- ・今回のような報告会は議員一人ひとりの考えが聞けてよかった。
- ・具体的説明で理想的でした。
- ・参加する会派が増えてほしい。
- ・皆さん選挙を勝ち抜き是非帰ってきて下さい。
- ・会派の枠を超えたスタイルが実現することを望みます。
- ・報告だけにじかんを費やすのでは無く、市民の建設的な意見を吸い上げられるよう時間配分を変えるように望む。
- ・議会改革で何をどのように改革したのかわかりませんでした。
- ・時間が効果的に使われ楽しかった。各議員よく話をまとめておられた。
- ・報告会の意義は大きい
- ・結果の説明だけでなく、経過の説明をしてほしい。
- ・個人の感じた議事を答えてもらってよかった。
- ・合併のつけがしっぺ返しとして、過疎、少子化、年金引き下げ。介護費アップ。サア！ドウスル、皆でがんばろう！！
- ・議員個人の意見が聞けてよかった。
- ・議員さんを身近に感じた
- ・意見を求められた議員さんたちが分かりやすくまとめて考えを話されるので、すごいと思います

★意見・要望

- ・このような報告会に参加される議員さんが増えることを望みます。
- ・議員さんたちの頑張りを見て、市民としてしっかり協力しなければならないと思いました。次期も是非、今の議員さんたちには当選して八代のために頑張ってもらいたいと思います。応援しています。
- ・選挙のときだけ真剣に話されてもピンとこないが、皆様の日ごろの努力がわかり、また、個人の話も聞けて良かったと思います。皆様の次回の当選を望みます、頑張ってください。
- 田中茂さま。長い間お疲れさまでした。
- ・住民自治の現状をPR。議員定数削減は必要。議員報酬見直し削減。
- ・母なる球磨川を取り戻す為、セキやダム撤去を実現し「球磨川、八代海は宝」にしてください。
- ・「住んで良かった八代市」乳幼児医療費無料化。できれば中学生まで実現して下さい。
- ・年金。ごみの堆肥化。環境、命。ソフト面の充実。ハードはいりません。
- ・個人の市議の方の言葉を聴き、行政との違いが少しわかった。又、市民からの問い合わせに答えられる勉強を頑張ってください。市議の数を減らして、年齢制限も必要だと思う。
- ・お疲れさまでした。市政が身近に感じ、情報を得ることができました。また、続けてください。
- ・一人ひとりの議員さんの話を聞けてよかった。笹本議員さんのお話は、何か自然体でというか何か聞いていて、その時の様子が伺えた。誰だって失敗もあるから庶民的な方だと思いました。皆さんの話はとても分かりやすかったです。梅田さんお疲れ様でした。
- ・「約束ごとをする」それを「実行する」それが「仕事」議員活動を「勉強」としない。自分のためではないはず。今回のメンバーの「正直パイプ」が流れをスムーズにしていくのではと期待をもつことができました。
- ・所用のため二部に参加できず残念です。また、来たいと思います。知人を誘って。
- ・2回の報告会のうち1回は校区での報告会だったので、参加者の多さ(関心の高さ)に驚きました。
- 資料や説明の仕方など工夫されていて分かりやすかったです。大変でしょうが、また今後も続けて下さい。都合をつけて参加します。
- ・今期最後の報告会ということで参加しました。
- 若い人たちの出席を望んでいましたら、今回は最高に多かったように思います。若い人たちの意見がたくさん出てくるようになればまた、元気になれる(八代)と思います。
- ・議員の苦労も理解できた。スタンスもきちんとわかってきた。議員の職務が問われたことに対し受け止めた上で、強いハートを持ってもらいたい。期待しています。
- ・住民自治の推進を主張するのであれば、NPO、ボランティア団体、地縁、組織との連携。市民サポートセンターの先進地の実情、町内会、民生委員、社協等の活性化などが必要。
- ・八代に戻ってきて10年たちますが、八代の活動に対して良いイメージがないので、選挙には行っていません。本日の議会報告会で、もう少し政治に目を向けてみようかなと思います。二部のパネルディスカッションがとても興味深かったです。これからも市民の意見を反映したより良い市政をお願いします。
- ・コーディネーターの進行が楽しく話がとても耳に入りました。
- ・議員さんも4年間本当にお疲れさまでした。
- ・年配の方に声かけしますが、夜は～と言われる。私たちは夜がいいです。
- ・これからも、体にきをつけられて。市民の為、より良い市政を目指してご活躍ください。
- ・梅田さんの司会すばらしかった。議員さんは皆さん誠実なところを感じた。
- ・とてもわかりやすい報告だったと思います。
- ・活発な議員さんの意見が聞けた。
- 各議員さんの話を聞いて良かったです。これからも続けてほしいです。
- ・次回の開催を待っています。
- ・野崎議員、笹本議員の分かりやすく丁寧な本音のお話、議会の内容内容が聞けてよかった。
- ・初めて参加しました。とても充実した内容で良かったと思います。
- 市政に対して関心を持って次回の選挙に行きたいと思いました。それが市民としての義務だと思います。
- ・大変いい勉強になりました。こういう機会をもっと持ってほしいです。
- パネルディスカッションは非常に良かった。
- ・執行権は無いということでしたが、議員もマニフェストを持っていいたいということでした。
- もう少し、個人の①八代活性化に関するマニフェストが聞けたらと思いました。
- ②八代市の何が問題かと

- ・コーディネーターさんが素敵な方でした。パネルディスカッション良かった！
- ・選挙の時は、元気のある八代に！！など話を聞くと、議会報告会を聞くと元気のある八代にする取り組みはないようですね。
- ・1、立候補に際して何をやりたいのか(努力したい)かを明確にしてほしい。
- ・2、市民サービスは何を基準にして減ってはいないとしているのか。
- ・3、鹿児島県の中国無料研修についてどう思われますか。
- ・4、八代市は他の自治体より福祉が遅れていると聞いたが本当は？
- ・給与引き下げに反対の議員は自分たちの議員報酬に引き下げが及ぶことを恐れて否決に持っていったことは明々白々、自分たちの保身しか考えない。反対の説明がいろいろあったが理由になっていない。
- ・報告会の軌道は我田引水のように若干くどく思えました(批判するものではありません)
- 反面、パネルディスカッションは面白い試みでした。どちらかといえば、6月議会でどのような論議が交わされ、それが市民にどう影響するのかといった報告に時間を割いていただき良かったです。報告会に尽力された議員皆様に感謝します。
- 会派の皆さんが本当に真摯に議会改革に頑張っておられるのに感銘しました。
- ・次回もこのメンバーで報告会をされることを願う。
- ・報告会を市民の皆さんに是非知らせたい
- ・どうしたら商店街にお客様がこられるかを考えてもらいたい。
- ・最初の頃に比較して皆さんよく勉強するようになった(笑)。田中先生お疲れ様でした。
- 資料にメモ帳があれば良かったです。
- ・道路の改善、道が狭い所が多く、消防車などが入らない。
- ・議員の活動内容がよくわかりました。今後も八代のために頑張ってください。